3-1149

0029

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

外務省文書課 受第7531號 15915
海外商報掲載濟 大正15年10月 日 第10620號
附屬書類添附
通商局第二課

在オテッサ日本領事館

公第七七號

大正十五年八月十四日

在オデッサ
領事代理副領事 上林仲一

外務大臣 男爵 幣原喜重郎 殿

大正十五年十二月六日 記録係接受

欧露ニ於ケル国人ノ資本ノ活動状況ニ関スル件

本件ニ関スル別紙付調査書一通御参考迄ニ茲ニ御送付申進ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

9

9244

（四）商業ニ於ケル個人資本ノ活動状況

茲ニ個人経営ノ商事株式会社ノ現状ヲ見ルニ、貿易人民委員ノ発表セル諸種株式会社ノ設立数ハ不断ノ増大ヲ示シテ居ル。即チ

年度	株主数	資本（留）
一九二二年	二	三五六五〇〇留
一九二三年	四	七九〇、〇〇〇
一九二四年	九	一七〇〇〇〇〇
一九二五年	一九	二六九五〇〇〇

デアッテ、個人資本ハ専ラ個人経営株式会社ニ投資セ

360

10

ラレ合弁会社ニ対スル投資ヲ希望セザル傾向ヲ有シ個人資本ノ株式会社ニ注入セラレタル総額ハ六百四十八萬八千留ニシテ其中個人株式会社ニ対スル投資額ハ五百五十萬留デアッテ、他ノ合弁会社ニ投資セラレタル総額ハ僅カニ九十八萬八千留ニ過ギナイ状況デアル。一九二三年−二四年度ニ於ケル販売事業ニ関スル個人経営株式会社ノ融通資本総額ハ約七百萬留ニシテ購買事業ニ対スル資本モ略之ニ近似数ヲ示シテ居ル。就中織物類ノ販売及生産ニ対スル個人資本投資額ハ前年度ニ比較シ一九％、食料品ノ製

在外公館

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

造販賣ニ対シテハ一八、九%、皮革製品ノ製造ニ対シテハ一〇%夫々減少シテ居ルガ一九三四年ニ五年度ニハ個人経営株式會社ノ融通資本総額ハ著シク増大シ其ノ増大率ハ三五七、九%ニ達シテ居ル。右ノ如キ事態ニ基キテ貿易人民委員會ハ将来ニ於ケル個人資本ハ一般的ニ益々優勢ナル傾向ヲ示シ之等諸企業ニ対スル指導機関ガ指導取締ニ付キテ時宜ニ適應セバ疑ヒモナク個人市場ノ優的発展ハ実現シ得ラルヽデアラウトノ観察ヲ持シテ居ル。

キ 砂糖市場ニ於ケル個人資本ノ活動

砂糖トラスト（上）ノ調査ニ依レバ砂糖業ニ対スル個人資本ノ投資額ハ著シク多額ニ達シ本年前半期ニ於テハ全トラスト（上）ノ融通資本ノ一二、四%ニ達スル個人資本ノ加入ヲ見積ニ四五両円ニ於テ一四%ニ及ンデ居ル。現在ニ於テ販賣ノ為ニ砂糖ノ供給ヲ受ケシニトガ出来ル主ナルモノハ砂糖トラスト（上）及其ノ加入者以外全トラスト（上）ノ租借経営トナツテ居ル工場銀行等取引部穀物取引會社等ニ過ギナイノデ将来砂糖業ニ対スル個人資本ハ益々増大シ趨クトモ二六%乃至二八%ニ達スル見込デアル。目下個人トシテ主ナル砂

在外公館

3-1149
0032
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

雑貨品ノ取引先ハ小売商デアッテ卸売商ノ活動ヲ見テ居ルノハ北部亜細亜、後高加索（タターズカヤ共和国）西伯利（ヴォロゴドスカヤ県及トヴェルスカヤ県デアル）個人商人ニ対スル雑貨商品販売条件ハコオペラチーフニ対スルモノヨリ遥ニ不利且手堅ク個人商人ニハ雑貨トラストノ定価表ヨリ五％ノ値引ヲ為スニ止マリコオペラチーフニハ三乃至四％ノ割引ヲナシ居ル又個人商人ニ対スル信用貸付期限ノ如キモ僅カニ三十日デアルノニコオペラチーフニハ六十日ト定メラレ居ル。又個人商人ノ雑貨販売価格ハ県都市ニ於テハコオペラチーフト同価格、郡都市ニハコオペラチーフノ販売価値ヨリ一乃至四％ノ高価デ村落ニ於テハ四乃至七％、辺疆地方ニ至ッテハ一二％見当ノ高率ヲ示シ居リ、殊ニ中央市場ニ於ケル雑貨商品ノ多少ニヨリ上下シテ居ル。

織物及皮革雑品市場ニ於ケル個人資本ノ現況 ロ

在莫斯科中央統計局ノ調査ニ依レバ本年五月中織物市場ハ共ニ販路極メテ不振状態ヲ継続シテ居タガ六月ニハ稍好況ニ向フベキ表徴ヲ見出サルヽニ至リ從来一定標準ニ止マッテ居タ織物価格ハ漸次下落シ始

在外公館

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

15

外商品ノ移動漸次飽満トナリツヽアリテ居ル。又皮革製品市場ハ近来益々沈着シ緊張ヲ示シ、特ニ木材ニ対シ楽観ヲ許サヾル。絹ハ絶ノ不況ヲ続ケ、地方ニ於ケル皮革製品ノ販路ハ殆ド絶滅状態ニアリツヽアルガ、賣買ノ如キハ実ニ微々タルモノニアリ。而モ安価ナル商品ノミガ取引サレテ居ル。又斯ル個人経営ノ製造工場ハ右ノ如キ製品ノ販路緊張及価格ノ低落ヲ示シタル一方、雑用多シ。ソ職ノ缺乏ノ為ニ暫メ事業中止ノ已ムナキ状況ニアル。

一、穀物市場ニ於ケル個人資本ノ現状

在外公館

16

一九二五－二六年度ニ於ケル穀物取引期ノ初期ニ於ケル個人穀商ハ其活動力甚ダシク減退シ、殊ニ各地方間ニ取引サルヽ大規模ノ穀物卸取引ニ付テハ何等ノ見ルベキ成果ナク、一九二五年ノ春ニハ穀類豊作ノ期待セラレ、殊ニ穀物ノ價格モ低下ニ向ヒ穀類取引上最モ好条件ヲ示シタルニモ拘ラズ、個人穀商ハ之ニ反シ漸次自己ノ事業ヲ制限緊縮シ僅ニ地方市場ニ於テ活動ヲ示シ、穀物ノ生産市場ニ於テ國営穀物取引機関及コオペラチーフトノ間ニ取引ヲ営ンデ居ルニ過ギナイ状況デアル。茲ニ地方市場ニ於ケ

在外公館

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ル個人穀商ノ活動ト云フハ個人穀商カ該地ノ国営機関又ハコオペラチーフヨリ穀類ヲ買込ミ之ヲ消費地方ニ運送シテ売買ヲ行フコトデアル。右ノ如キ状態カ今年九月迄継続シ来リタルモ今月ニ入リ穀類ノ取引期トシテノ穀物移動始マリ一方ニ於テハ地方諸買機関ニテ買収セラレタル穀物カ欠乏ヲ来タシタル等ノ事情ニヨリ個人穀商ハ積極的取引網ヲ拡大シタ第上述ノ時期ニ到達シタノデアッタ。然ルニ期ニ当リ個人穀商ハ国営機関及コオペラチーフノ代理店トシテノ事業ヲ拡大シ殊ニ穀商業ニ対スル穀物ノ売

在外公館

込ヲ開始シタ。同時ニ国立銀行及市営銀行ハ個人穀商ニ対シテ其ノ取引穀物ニ対スル信用貸付ノ形式ヲ以テ多額ノ資金ヲ融通スルニ至ッタノデアルガ斯ノ如クニシテ北部地方ニ於ケル穀物消費機関ガ其ノ需要ヲ充タサンガ為ニ自ラ直接又ハ個人穀商ノ手ヲ経テ穀類ノ北方輸送ヲ開始スルニ際シ穀物生産費ノ増大セラルルニ憂慮シ貿易人民委員会ハ穀物生産費引下ケ及穀物輸出ノ結果トシテノ留価相場ノ動揺ヲ防止スル目的ヲ以テ穀物取引取締政策ヲ採リ有ユル手段ヲ講ジテ個人穀物取引ニ制限ヲ加フルコトトナッタ

在外公館

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三 20

19

ノデアルガ、於ケル取締政策ノ実施ノ結果ハ事実上個人穀物取引ヲ禁止シタル状況ヲ呈シ、反面ニ於テ国営穀物取引機関ニ対シテハ鉄道沿線各駅ニ集積セラレタル個人穀商ノ所有穀物ヲ一定価格ニテ買収スルコトヲ許可シタ。個人穀商ハ最初ハ右取締政策ナルモノガ長期ニ亘リテ実施セラルルモノニ非ズトナスノト信ジ、将来ニ於ケル需要市場ニ穀物価格回復ヲ求メズ該果断ノ如キ政策ハ解除セラルルコトアルベキヲ期待シタルガ故各駅ニ集積シタル穀物ヲ更ニ契約ヲ増加セシメタノデアッタ。然ルニ其後右取締政策ガ相当根強キモノデアルコトヲ知ルニ及ンデ、漸次之レ手持ノ穀物ヲ国営機関又ハコオペラチーフニ一定ノ価格ヲ以テ売却シ始メタノデアル。

斯ノ如キ状況ニ際シテ、個人穀商ノ所有穀物ノ一部ハ鉄道駅ヨリ再ビ生産市場ヘ逆輸送ヲ行ヒ該市場ニテ売却スルガ如キ現象ヲ呈シタ。

次ニ貨車積込未済ノ穀物ヲ貨車数ヲ以テ示シテ見レバ

	一九二九年九月一日	十月一日	十一月一日	十二月一日	一九三〇年一月一日	二月一日	三月一日	四月一日	五月一日	六月一日	七月
積込未済ノ穀物総量	八八八	四三四八	四一五五	五五一五	七七二〇	九九六九	一八五五八	一〇四五二	三八九二	六二二一	二二六
個人穀商所有穀物ノ積込未済量	—	—	—	—	三九四四	四四四一	四二八九	二八二一	九二九	二七一	一一五

在外公館

在外公館

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

21

前記取引取締政策ハ運輸事ニ対シテモ実施セラレタノデ、最初ノ間ハ個人穀商ハ穀物ヲ特別注意取扱運送ヲ利用シ或リカハ「クーロ」ヨリ「グルイム」近海上運送ヲ考シ、該地ヨリ更ニ鉄道便ニヨリテ中央地方ニ迂回運輸送ヲ試ミ乍ラ甚ダ場リ間ニ合ハセテ居タガ本年ニ三月ニハ右ノ如キ輸送方法モ禁止セラルヽニ至ツタノデアル。左リトテ馬車ニ依ル穀物輸送ハ僅カニ近距離ニ於テノミ商業上利用シ得ラルヽモノデアルカラ、茲ニ於テ個人穀商ハ極度ニ行キ詰リノ状態ニ陥リ遂ニ自己ノ営業鑑札ヲ他ニ譲渡シテ営業ヲ中絶スルノ

22

外ナク、其ノ穀類取引資金ハ専ラ地方市場ニ向ケラルヽニ至ツタノデアル。

次ニ引用シタル表ハ各地方間ニ振引サルヽ穀物ニ対スル個人資本ノ移動ヲ語ルモノデアル（貿易人民委員会貿易統計ヨリ）。個人穀商ガウクライナ、北高加索及東部地方ヨリ穀物需要地方ニ向ケ輸送シタル穀物ヲ貨車数ニテ示シタルモノ。

	一九二五年八月	九月	十月	十一月	十二月	一九二六年一月	二月	三月	四月
穀物輸送総量	一三三八	二五五四	四四六四	四七七二	四三九四	一二四五	九五五	七九九	五四六
裸麦輸送量	一〇二	六〇	四七一	八七九	一〇三六	二六一	三二一	一〇七	一〇四
小麦輸送量	八三五	二四六九	三〇九〇	二八五二	二二五五	四二五	三二一	二七六	一五二

0037
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

輸送穀物屯数	五月	六月	計	東部輸送総量ニ対スル%	宮崎地方ニ輸送セラレタル穀物総量ニ対スル%
	四三九	五五九	三六八九	一〇・〇%	一八
裸麦	一一五	一六〇	五八六六	一六・〇	七六三
小麦	一四一	一四四	一三九七三	五六・三	一四四

即チ小麦ニ関シテハ十一月、裸麦ニ対シテハ十二月ニ、個人穀商ガ最モ多量ニ需要地方ニ穀物ヲ輸送シタ月デアツテ、最高ニ達シタ時ハ、穀物輸送総量ノ二二%ニ及ビ、裸麦ハ輸送総量ニ対スル一九%、小麦及小麦粉ハ輸送総量ニ対スル三一・三%ニ相当シテ居ル。右ノ如ク個人穀商ノ輸送総量ノ最大限度ニ達シタ時期ニ、個人資本ハ主トシテ品質優良ナル小麦粉ノ取引ヲ行ツテ居ルノデアツテ其ノ三八%ハウクライナヘ輸送シ

在外公館

タモノデアル。又個人穀商ノ取扱ヒタル穀物ノ六〇%ハ小麦及小麦粉デアツタ。然ルニ其後ニ至リ貿易人民委員会ノ穀類取引取締政策ガ個人取引穀物ニ対シテ厳酷ナル制限ヲ加ヘタノデ漸次個人取引穀物ノ数量ハ減退スル事トシ本年六月ニ於テハ僅カニ五五九貨車即チ穀物取引全量ニ対スル五%近ニ減少シタノデアル。斯ノ如ク各地方面ニ取引サレル、個人穀商ノ取扱穀物ガ著シク減退シタ結果トシテ国営穀物取引機関及コオペラチーフノ穀物取扱高ハ[illegible]驚クベキ発展ヲ示シテ居ル。カ之ニ反シテ貿易人民委員会ガ採リタル穀物

在外公館

3-1149
0038
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

取引取締政策ハ特ニ個人穀商ニ対スル痛撃ナリシノミナラズ、穀物株式取引所ニ対シテモ著シキ影響ヲ及ボシ、取引所ノ穀物取引高ノ中ニテ個人穀商ノ取引高ハ五八・三%ニ減退シテ居リ（昨年十月ノ個人穀商ノ取引高ト十一月ニ於ケル夫トノ比較）十月ニ於ケル個人穀商ノ販売額ハ二千六百萬留アリタノガ十二月ニハ僅ニ三、四千乃至百萬留トナリタリ、右ノ如キ状態ヲ現出シタルハ個人穀商カ直接需要地方ニ輸送シタル穀物ノ販売ヲ中止シタルノト生産市場ニ於テ穀物消費機関カ個人穀商ヨリ穀物買収ヲ手控ヘタル結果ナリ。

在外公館

(四)個人私営商事企業ニ対スル課税状況

八月九日ニ開催セラレタル国家計劃局幹部会議ノ席上全聯財政統計課長ハ莫斯科、「レーニングラード」「ハリコフ」「キーエフ」「ロストフ」「クラスノダール」「[illegible]」ニジノ七大都市ニ於ケル個人私営商事企業ニ対スル課税状況及営業廃止状態ニ付キ大要左ノ如ク報告シテ居ル。一九二三―二四年度前半期ヨリ一九二四―二五年ノ前半期ニ至ル期間ニ於テ個人私営ノ商事企業ハ著シク制限ヲ加ヘラレタル結果閉鎖ノ已ムナキニ陥リタル企業総数ハ営業鑑札ノ下附状況ヨリノ計算ニヨレ

在外公館

26

然ルニ財界ノ一般状勢ハ一九二四年—二五年ノ後半期ヨリ一九二五—二六年ノ前半期ニ於ケル個人経営商業ニ於テ有利ナル条件ヲ齎ラシ其営業範囲ハ拡大セラレ融通資本ノ能力関係ニ依テモ漸次優勢トナリ、今ヤ国営企業及コオペラチーフハ一方トシ他方個人商事企業トノ争闘ヲ惹起シテ居ル。信用貸付ノ制限乃至之ニ対スル利息ノ引上、商品供給数量ノ制限、供給スル商品価格ニ対シ市場附加率ヲ加ヘル手段ニ依リテ個人資本ガ商業界ニ雄躍スベキ勢力ヲ減殺スルニ努ムルニ至ツタ。又財務人民委員会ノ調査ニ依レバ

27

ハ総十萬ヲ超過シテ居ル。即チ企業数四七六、〇〇〇ナリシモ之ガ三一〇、〇〇〇ニ減退シ其ノ率ハ三五%デアル。右ノ如ク個人経営企業ノ減退ニ伴ヒ国営商事機関ハ九八%、コオペラチーフハ四〇%夫々増大ヲ示シタ。而シテ一九二三—二四年ノ後半期ヨリ個人経営企業ノ融通資本ハ漸次減少シ其ノ額ハ三五%ニ達シタノデアルガ同時期ニ於ケル融通資本ノ総額ニ於テハ減少セザルノミデナク、国営企業ノ融通資本ガ七三%、コオペラチーフガ九九%ヲ増資シタノデ結局総体ニ三四%ノ増資トナツテ居ル。

3-1149
0040
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

個人商事企業ノ各種純益ノ総額ハ其ノ融通資本ニ対シ一六・二%ニ相当シ其中国税及地方税ハ三・七%ヲ占メ営業税ノ如キハ最モ主要ナルモノニテ融通資本ノ二乃至三・四%ニ相当スルノミ個人企業ガ其ノ増資スル為メ年度毎ニ常ニ此ノ課税額ノ過重ナルコトニ付キ斯種スル状況デアル。次ニ商事企業ノ店舗租借料ニ関スル地方機関ノ調査ニ依リテ見ルニ戦前ニ比シ二五%ノ高率トナリ其ノ各等級ニ対スル割合ガ甚ダ不公平デアツテ大幕張ニテ商業ヲ営ミ最モ小規模ノ商業ニ対スル租借料ガ店舗又ハ大商店ニ対スルモノヨリ

其ノ率ハ指シタ所ノ居ル。又在ルカノ営業経費ガ為ハ経常勤務費ノ最タル収入ヲ著シク減少シ各等級ヲ通シテ平均七四%トナリ其ノ等級別ニ融通資本ニ対スル純益総額ヲ示セバ一等級ハ一八・九一%六等級ハ一七・四%四等級ハ一七・六一%五等級ハ一六・九九%デアル。次ニ所得税ニ関シテハ六等級ノ商事企業ノ収入ニ対シ六・九%五等級ハ一二・九%デアロウ、各等級ノ企業ノ収入ニ対スル所得税ハ平均二・七%ヲ示シテ居ル。尚店舗家賃、公課、営業税、子弟ノ教育（授業料等）其他雑税金タル経費総額ガ収入ノ約二五%ニ及ンデ居ル

在外公館
在外公館
3-1149
0041
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

31

等全部ノ負担ヲナシ相当重荷ナルニ拘ラズ尚且ツ個人
経営商業企業ハ左ノ如キ比率ニ於ケル収益ヲ得ツヽ居
ル

二等級 ― 収入ニ対スル 三〇・九%
三等級 ― 二五・八%
四等級 ― 二一・九%
五等級 ― 一〇・一%

（本調査書ハ本年七月八月両月ニ亘リ於
ハリコフ市発刊ウクラインスカヤ・エコノミストニ記載セラレ
タル記事ヲ参照シタルモノナリ）
（後藤書記生調査）

在外公館

0042
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp